

# WAZA ~世界に誇るニッポン企業~

vol.63

## 繊維加工用薬剤メーカーの世界トップへ

日華化学株式会社 化学品部門 繊維事業部 ビジネス開発部長 池端 和彦氏



池端部長

水と油など混じり合わない物質の境界面に働きかけ性質を変え、混ぜ合わせる機能を持つ界面活性剤。福井県福井市に本社を置く日華化学株式会社は、繊維加工をはじめ、特殊化学品、工業用洗浄剤、紙・パルプ、クリーニングなど幅広い分野の界面活性剤と化粧品の開発・製造・販売を手がける化学メーカーで、繊維加工用薬剤で国内トップシェアを誇る。界面活性剤・高分子を中心とする化学品と毛髪科学を中心とする化粧品を事業の両輪とし、国内外で売り上げを伸ばしている。海外事業はアジアを中心とした8つの国と地域に12拠点の子会社を有し、顧客の要望に即応できる体制を構築している。

### ポリエステル染色、業界最先端の技術力

主力事業は連結売上高の6割を占める繊維加工薬剤事業で、1941年の創立以来、世界有数の繊維の生産地である福井県の産業発展を支えてきた。繊維加工は「精練・漂白」、「染色」、余分な染料を洗い流す「ソーピング」、撥水や抗菌、消臭、難燃などの機能を施す「機能加工」などの工程を経る必要があるが、同社は研究開発力を強みに、加工工程で使用される全薬剤を取り扱い、ポリエステル染色に関して、2007年に世界初となるオリゴマー<sup>\*1</sup>の除去剤「テキスポートPEEL」の開発・量産に成功し、繊維上に残留するオリゴマー量の低減を可能にするなど、業界最先端の技術力を有する。

また、「現場主義」と社員は家族同然という「大家族主義」を徹底し、「製品を売るにあらずして技術を売る」を信条に、顧客のニーズに合わせた製品をカスタマイズするサービスを提供しており、顧客とともにものづくりを行う姿勢を

徹底しているため、取引先からも確固たる信頼を得ている。

### 海外でも「現場主義」・「大家族主義」を徹底

海外事業の基軸となるのも繊維加工薬剤事業である。海外における売上高は同事業全体の約8割を占めており、中国、台湾、韓国、タイ、米国、香港、インドネシア、ベトナムに子会社を構える。なかでも世界の合成繊維生産量の6割を占める中国を重要市場と位置付け、上海の研究開発専門の子会社「日華化学研究(上海)有限公司」をはじめ、浙江、広州、上海、青島、香港に生産・営業拠点を置き、市場開拓を図っている。

海外においても大家族主義を徹底し、技術流出を恐れることなく、地場社員の課長クラス以上に製品製法を開示したり、取引先からの要望があれば現場に赴き、解決策を考案するなど、日本のノウハウを惜みなく提供し続けていった結果、業績は拡大していった。

中国では現在、繊維加工企業の統合・合併が相次ぎ、大規模な加工工場や巨大大事業者が続々と誕生している。こうした傾向に着目し、台湾や韓国の子会社と連携を強化することにより、巨大企業へのアプローチを図り、大口の取引先獲得を強化している。

### 「環境対応力」を武器にグローバル市場へ挑戦

また、環境配慮型製品の開発を創業当時より手がけてきた点も強みにあげられる。

近年は、大手アパレルブランドメーカー等が有害化学物質排出ゼロ(ZDHC<sup>\*2</sup>)を推進。製品製造時に使用制限すべき有害化学物質を特定したリストを作成し、2020年までにサプライチェーン全体で該当物質の排出をゼロにしようという方針を掲げている。また2023年には、人工皮革の製造工程で使用されるDMF<sup>\*3</sup>等の



大手アパレル企業から当社の取り組みに対し、環境先進企業として表彰を受けた

有機溶剤の使用をゼロにしようとする動きもある。このような市場環境の大きなうねりのなか、同社は他社に先駆け、水系ウレタン樹脂の「エバファノール」シリーズを開発。有機溶剤を用いない水系の製品を展開し、厳格化が進む環境基準にいち早く対応している。

2013年には繊維加工用薬剤メーカーで日本初となるbluesign<sup>\*4</sup>のシステムパートナーに選定された。2017年2月にはドイツで開催される世界最大級の国際的スポーツ用品専門見本市「ISPO MUNICH」に3年連続で出展することを決めており、フッ素フリー系耐久撥水剤を用いた最新技術を世界のスポーツメーカーに紹介する予定で、グローバル市場においてもプレゼンスを高めている。

繊維事業部のビジネス開発部長である池端和彦氏は、「繊維加工用薬剤日本トップの当社も、世界ではシェア拡大を図る余地がまだある。海外にはビッグアカウントと呼ばれる超大手繊維加工企業が各国に点在しているため、今後は環境対応力を武器に、ビッグアカウントの取り込みに注力したい」と語る。繊維の街・福井で培った技術力を駆使し、世界トップの繊維加工用薬剤メーカーを目指す。

\*1 ポリエステル繊維の染色工程で発生し、糸切れや染めムラを引き起こし、染色トラブルの原因となる物質。業界ではオリゴマーの除去は不可能と目され、永遠の課題とされていた

\*2 国際環境NGO団体グリーンピースが立ち上げた衣類生産工程における有害物質除去運動

\*3 有機化合物の1つ。ジメチルホルムアミドの略称

\*4 スイスの国際的環境認証機関であるbluesign technologies agにより構築された、繊維製品の環境規格。世界で最も厳格な基準といわれている

(取材・作成)みずほ銀行 国際戦略情報部 金久 実央